

2月定例山行

2月24日(日)

船倉山

(546m)

参加者 17名

CL 永谷 章彦

三重、功野、佐々木敏、反田、坂本、
清水、杉原、山本、宍戸佐、熊野、
円山、鬼武、宮木一、村島、斉藤、
会友(功野健)

交通機関 広電バス

コースタイム

バスセンター 8:30 ⇒ 9:50 上峠 10:00 ~

10:40 鞍部 10:45 ~ 11:05 P631m

11:09 ~ 12:10 船倉山 13:10 ~ 14:00 滝分岐 14:10 ~ 15:20 宮島口駅(解散)



○

広島バスセンターを8時30分発の定期バスに乗り込み、途中1回乗り換えて1時間20分で登山口に近い上峠に着いた。乗客は我々を除くと極めて少ない。さて、バスを降りて住宅地の奥まで舗装道路を歩き、やっと山道に入る。大野権現山への道との分岐がある鞍部まではそんなに遠くない。道を東にとって程なく烏帽子岩が見えて631mのピークに着く。烏帽子岩は割愛し、稜線どうしに進む。稜線上、途中一部、右への分岐で案内標識が見えないときは見極めの必要がある。船倉山に近くなると展望が良くなり、頂上の東側に1箇所展望に良い岩がある。頂上付近は樹木の伐採で以前より展望は開けている。昼食が終わり、見晴らしの良い下山路を下って行くとやがて舗装林道に出る。それから少しの所に白糸の滝との分岐点がある。一部の人々は滝の景色を楽しんだ。これより宮島口まで舗装道路を歩いて1時間少々である。

(記 功野 勝)

○

2月24日の山行は大野町船倉山に登りました。佐伯町広電上峠バス停から南新興団地の奥に登山口があった。登山口からまっすぐ上り詰めると尾根に辿り着き、大野権現、烏帽子の分岐となる。烏帽子山付近にある烏帽子岩はまさに中世公家のかぶる烏帽子そのままの岩である。烏帽子山から大野町佐伯町の頂境沿いにある道を2時間余り歩いて船倉山に着いた。船倉山山頂では宮島、瀬戸内海、広島郊外の団地が箱庭のように開けた景色であり、永谷さんが心配してくれた豚汁が体を温めてくれた。下りは白糸の滝、王舎城を経て宮島口までの行程であった。

(記 清水 秀雄)

